

# 静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

|              |  |            |    |                      |
|--------------|--|------------|----|----------------------|
| ① 対象者        | 2016年1月1日～2021年3月31日までに切除不能進行再発胆道癌と診断された患者さん   |            |    |                      |
| ② 研究課題名      | 切除不能進行再発胆道癌に対するスタチンの有効性を検討する多施設後ろ向き研究  |            |    |                      |
| ③ 実施予定期間     | 当院倫理審査委員会承認日 ～ 2027年3月   |            |    |                      |
| ④ 実施機関       | 静岡がんセンター   |            |    |                      |
| ⑤ 研究代表者      | 氏名   | 平田賢郎       | 所属 | 慶應義塾大学病院 消化器内科       |
| ⑥ 当院の研究代表者   | 氏名   | 戸高明子       | 所属 | 消化器内科                |
| ⑦ 使用する検体・データ | 診療録からの治療経過、検査データ、遺伝子パネル検査を実施された場合はそのデータ  |            |    |                      |
| ⑧ 目的         | 近年、すでに普及している他の薬剤を抗がん剤として応用する戦略が存在し、これをドラッグリポジショニングと読んでいます。我々は高コレステロール血症に対する薬剤であるスタチン製剤に注目しており、近年スタチンには、細胞増殖抑制やオートファジーの促進の効果があることが前臨床段階で報告されており、一部のがんに対して、発がん予防および生存期間の延長が期待されています。そこで我々は、スタチンの胆道がんにおける有効性の実際について検討する試験を立案し、開始いたしました。 |            |    |                      |
| ⑨ 方法         | 2016年1月から2021年3月の間で、切除不能な進行例・再発例と診断された胆道がんの患者さんを対象に、スタチンの処方歴の有無が患者さんの生存期間を延長するかどうか、診療録をもとに後方視的に解析します。また、必要に応じて、得られた結果を他の研究と統合解析をするような2次利用を行う可能性があります(その際には別途情報公開し、拒否の機会を設けます)。   |            |    |                      |
| ⑩ 倫理審査       | 探索研究倫理審査委員会承認日   | 2022年4月19日 |    |                      |
| ⑪ 公表         | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。   |            |    |                      |
| ⑫ プライバシー     | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。   |            |    |                      |
| ⑬ 知的財産権      | 知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属しません。  |            |    |                      |
| ⑭ 利益相反       | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。  |            |    |                      |
| ⑮ 資料の参照      | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。  |            |    |                      |
| ⑯ お問い合わせ     | 連絡先  | 臨床研究事務局    | 電話 | 055-989-5222(内線3379) |
|              | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。<br>後日、あらためて研究者より直接回答いたします。  |            |    |                      |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。